

那覇市長 様

令和 4 年 10 月 21 日

団体名 若狭まちづくり協議会

代表者 伊地 柴基

担当者 岸本 麗子

「なは市民活動支援事業」

中間報告書

令和4年7月11日付け、那覇市指令市ま第1517号で交付決定の通知を受けた当該事業について、下記のとおり報告します。

1.事業名	若狭町の歴史をつなぐ未来づくりプロジェクト	
2.実施内容	<p>若狭小学校区で現在生活している多くの住民は古くからこの土地に住んでおらず、その歴史を知る人は少ない。自分たちの生活している地域がもともとどういった文化や歴史をもっていたのか、もとある歴史を見える形にして次世代に繋げていくことは、今後のこの地域の発展において必要不可欠であることから、若狭町の歴史的に意味深い場所に案内板を設置し、見える形にする。</p> <p>また、小学校のまち探検の授業として地域を知るプログラムを地域住民主体で提供できるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none">・歴史講座を開催 9月2日 講師：田名貞之氏 9月30日 講師：外間政明氏 10月20日 講師：外間政明氏・残したい地域の歴史について情報共有・話し合い 11月2日、16日、30日に開催予定・案内板設置（記載情報をまとめる/発注・施工） 12月半ば発注/1月中に施工・完成予定・ガイドによるまちあるき開催（周知） 2月予定・周知：若狭公民館まつり・開館30周年記念式典にて周知	
3.これまでの活動の振り返り	<p>【よかった点】</p> <ul style="list-style-type: none">・まちづくり協議会定例会に合わせて講座を開催し、多くの方に若狭町の歴史について知ってもらうことができた。・勉強会に参加した方の発言により2週間に一度案内板設置に向けて勉強会をつづけることになった。	<p>【改善点・今後につなげる点】</p> <ul style="list-style-type: none">・歴史的に意味深い場所でも、文献などが残されていないため、事実確認が難しいという課題が浮かび上がった。・日程調整がうまくいかず、スケジュールに遅れが生じている。
4.今後の事業予定	<p>【地域の歴史を知る勉強会を実施・ガイドの育成】 11月</p> <ul style="list-style-type: none">・地域の歴史を知るまちあるき講座を企画/実施する。・講座の参加者はその後の毎年開催する小学校の授業で、まち探検などのガイドとなるように育成する。 <p>【記念碑案内板の作成】 12.1月</p> <ul style="list-style-type: none">・講座で得た情報をまとめて案内板を作成し、地域の歴史を見える形にし、地域にお披露目する。 <p>【事業の周知方法】 2月</p> <ul style="list-style-type: none">・案内板完成後にもまちあるきを開催する。若狭公民館30周年記念式典にて周知する。・若狭公民館ホームページ、ブログ、SNSを活用して広く周知する。	

<p>5. 写真 (簡単な説明文を記入)</p>	 <p>自分たちの生活している地域がもともとどういった文化や歴史をもっていたのか、もともとある歴史を見える形にして次世代に繋げていくために、若狭町の歴史的に意味深い場所に案内板を設置し、見える形にする。</p>	 <p>若狭小学校区まちづくり協議会定例会の前に若狭町の歴史について学ぶ講演会を沖縄県立博物館・美術館の田名貞之館長をお迎えして開催した。那覇四町と若狭の関係や、若狭の産業や文化についても伺った。</p>
	 <p>那覇市文化財課の外間政明氏を向かえ、ガイドとなる地域住民と共に勉強会を開催。文献で確認できる若狭の歴史と、文化財課での記念碑設置方法も伺いながらアドバイスいただいた。</p>	 <p>今後は定期的に勉強会を開催し、それぞれが知る地域の歴史に関する情報を共有しながら案内板設置場所の設定・表記内容・写真の選別などを行い、案内板の設置に向けて活動する。</p>
<p>6. 活動の成果目標</p>	<p>地域にある歴史を見える形で継承し、自分たちが住む町に愛着を持つ地域となることを目的に、本事業ではもともとある歴史的に意味のある場所に案内版を設置する。(7台) また、地域の歴史について学ぶ講座を開催し(3回)、講座で学んだことを伝えるガイドを育成し(5名)、もともとある歴史を風化させないようにする。</p>	
<p>7. 現時点の成果目標達成度 (例: 60%達成)</p>	<p>20%</p>	